

2023-24年度のための地区研修・協議会

部門別協議会

【職業奉仕部門】

Rotary
District 2660



CREATE HOPE
in the WORLD

2016-17年度ガバナー
松本 進也

職業奉仕はロータリーの基本

**「ロータリーとは
奉仕する人を育てる団体である」**

他団体にはないロータリー固有の考え方



「職業を通じた奉仕」

ロータリーの会員資格基準

職業に携わっていることが資格の条件

2016年規定審議会

「仕事をしたことが無い人が会員となることを禁じるよう、
会員基準を改正する件」の制定案があがったが採否は延期

↓ その後

現在

職業の有無の項がなくなった

**奉仕の指導力がある人は
会員資格がある**

職業奉仕のRIの見解

世界的な理解：行動する奉仕を推奨
自己の職業的手腕を活かした活動も
職業奉仕に含まれる

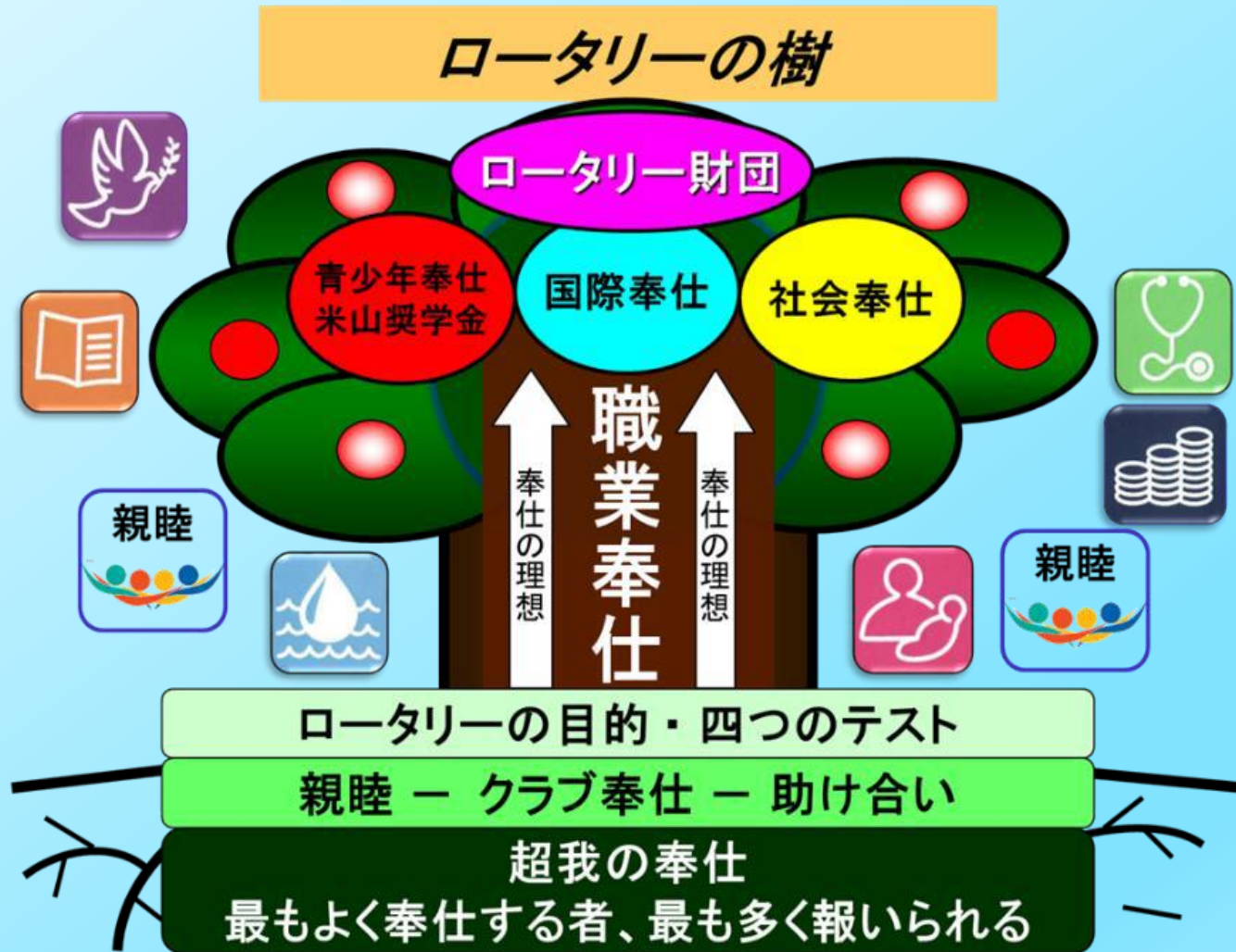
しかし

職業奉仕は4大奉仕部門に含まれる

≠ ではなく

職業奉仕が根幹にあり、その上に他の奉仕がある

ロータリーの樹



大樹の根幹は職業奉仕



塚本 義隆（大阪 R C）パストガバナー

小冊子

「むつかしくはないヴォケーショナル・サービス」

「ロータリーの目的」

有益な企業の根底にサービスの理想を培うに在る

大樹の根幹はどこまでもヴォケーショナル・サービス

＝ 職業奉仕

なぜ職業奉仕がわかりにくいとされるのか

「奉仕」・「サービス」の言葉の意味

日本での捉え方

「自分自身を犠牲にして第三者のためによいことをする」

これが職業奉仕がわかりにくいとされる原因

ロータリーとは人を育てる団体である

「職業を通じた奉仕」

私のガバナー年度方針“The Ideal of service”の基本理念

“service”は日本語訳では「奉仕」

=「自己犠牲」、「見返りを求めない一方通行の行為」を連想



敢えて原語のまま、“service”を使用、
言語の持つ「相互性」を重視した

単に“service”を提供するだけではなく、
“service”を提供する**行為そのものが**
我らを成長させている

超我の奉仕

「超我の奉仕」

ロータリーの理念を表している言葉で、相手のニーズを知った上で、相手に思いやりをもって相手のために尽くすことである

我々は

このことを知った上で利他・超我の精神に基づき、職業奉仕にあたる必要がある

最後に

**職業奉仕の考え方を深めて頂き、
本日の有意義な内容をクラブに持ち帰ってクラブ会員の皆様に職業奉仕についての理解を深めて頂くことを願っています。**



ご清聴ありがとうございました。